

市町村名		嘉手納町					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	嘉手納町民俗資料室収蔵品活用事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる 環境づくり		
担当部課名	教育委員会	中央公民館	事業実施 年度	平成 30	- 平成 30	年度 該当箇所	- 3 - (2)
事業内容	本事業は、民俗資料室に収蔵されている資料をデジタル化し、当該資料を活用した学習会等を開催することで、町民等が歴史民俗に対する理解を深め、学術の振興に寄与することを目的としている。平成30年度に資料の台帳を作成した。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	年度	年度	年度	合計	
	A. 予算現額	11,308				11,308	
	B. 執行済額	11,308				11,308	
	うち 交付金充当額	9,046				9,046	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	文化財収蔵品3,674点、文化財書籍3,033点、町史編纂資料6,023点、合計12,730点をデジタル化し、台帳を作成した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	年度	年度	年度	
	嘉手納町民俗資料室収蔵品台帳の作成	目標	作成				
		実績	完了				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	年度	年度	
	嘉手納町民俗資料室収蔵品台帳の作成完了	目標	作成完了				
		実績	作成完了				
	[R1成果目標] データベース化した資料を活用した学習会等の実施	目標		40人			
		実績		134人			
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) 中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果	達成 / 進捗状況				
			R1年度	R2年度	年度	年度
	データベース化した資料を活用した学習会等の実施	目 標	40人	40人		
	実 績	134人				
状況説明	目 標					
	実 績					
	[R1年度] ・令和元年度は、公民館と協力し実施した学習会(座学)を実施。そのほか、高齢者を対象とした地域の文化財を巡る野外学習会の講師依頼を2回受けた。 ・町民からの問合せ件数:53件 [R2年度] ・町民からの問合せ件数:5件 [年度] ・					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

[R1年度] ・学習会の資料作成が従来よりも、効率的になっている。 ・町民からの問合せに対し、スムーズに資料提供ができています。 [R2年度] ・ [年度] ・	[R1年度] ・予定して実施した学習会2回に加え、依頼を受けて行った学習会があったため、参加人数が目標よりも多くなっている。 [R2年度] ・ [年度] ・
---	--

今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)

[R1年度] ・定期的な学習会を実施できるよう計画を行う。ただ、学習会を実施できる施設を持ち合わせていないため、公民館等と協力できる体制を作る。 [R2年度] ・ [R3年度] ・

市町村名	嘉手納町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	嘉手納町防災情報発信強化事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 災害に強い県づくりと防災体制の強化	
担当部課名	総務課	事業実施年度	平成29年度 - 令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-10-(2)		
事業内容	災害時において町民及び観光客等の安全の確保を図るため、屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を設置する他、放送室など親局機能を整備して防災無線システムのデジタル化及び防災システム構築を行う。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	7,462	13,500	-	-	20,962	
	B. 執行済額	7,128	13,500	-	-	20,628	
	うち 交付金充当額	5,702	10,800	-	-	16,502	
	執行率(%) (B/A)	95.5%	100.0%	-	-	98.4%	
執行状況の説明	嘉手納町の防災・減災に向けて防災無線システムのデジタル化及び防災システムを構築する為の基本計画・実施設計を策定した。R2年度に施工完了予定。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	嘉手納町防災無線デジタル化及び防災情報システム整備工事	目標	基本計画の策定	実施設計の策定	本体工事(1期)	本体工事(2期)	-
		実績	基本計画の策定	実施設計の策定	本体工事(1期)	-	-
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	嘉手納町防災無線デジタル化及び防災情報システム整備工事の完了	目標	本体工事(1期)	本体工事(2期)	-	-	-
		実績	本体工事(1期)	-	-	-	-
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	年度 目標/発現年度
	防災無線を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。		目標	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年	1回以上/年
			実績	-	-	-	-	-
			目標					
実績								
状況説明	[R2年度] ・本工事は、R1～2年にかけて工事を行っており、現在施行中。R3年3月に事業完了予定。 [年度] . [年度] .							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
[年度] .				[年度] .				
[年度] .				[年度] .				
[年度] .				[年度] .				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
[R2年度] ・R2年度工事完了に向けて、進捗状況を確認し、工期内に工事が完了出来るよう取り組む。 [年度] . [年度] .								

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

記入例

事業名	会館建設事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-工 文化の発信交流	
担当部課名	部	××課	事業実施 年度	平成 25	平成 28	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	-3-(2)
事業内容	事業の目的、必要性、事業期間中の実施内容及び状況等を記載。 併せて、施設整備や設備整備事業の場合は、当該施設・設備の概要を記載					交付対象経費の 繰越分の合算を記載 例：H26繰（H26～H 事業期間が5年以上 例：事業期間がH24 同様とする。）	
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
該当する項 目にチェック () 事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	合計	
	A.最終予算額	2,254,627	1,408,000	1,768,931	1,175,373	6,606,931	
	B.執行済額	2,121,561	1,391,872	1,740,858	1,071,949	6,326,240	
	うち 交付金充当額	1,697,248			4,390	3,373,308	
	執行率(%) (B/A)	94.1%			91.2%	95.8%	
執行状況の説明	・H25年度は台風襲来等が相次ぎ工事が遅れ、翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は95.8%となり、概ね計画的に執行できた。					上記の予算執行状況等について記事 繰越等の状況についてもここで記事	
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
	事業期間中の活動目標・実績を記載。 過去の検証シートからの転記	目標	年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
		実績		用地買収	実施設計 ・本体工事着手	本体工事	供用開始
	管理運営	目標		管理運営計画等 検討	公共施設等運営 権制度導入可能 性調査	管理運営準備	-
		実績		管理運営計画等 検討	公共施設等運営 権制度導入可能 性調査	管理運営準備	-
	室保管資料の収集管理	目標		-	室設計 ・資料調査収集	室工事 ・資料収集	実施
		実績		-	室設計 ・資料調査収集	室工事一 部実施 ・資料収集	実施
	事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
事業期間中の活動目標・実績 を記載。 過去の検証シートからの転記		目標	年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
		実績		用地買収 補償、ボー リング調査の完了	事業実施期間の 年度を記載。	了、本体工事の 着手	60.9%、武道場 棟工事49.4%
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

記入例

事業完了後の取り組み

該当する項目にチェック
()

事業完了後の成果目標	稼働	達成 / 進捗状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度	
成果目標(指標) 中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果	中期的検証(施設整備等)の場合は、利用状況等に関する中期の目標を新たに設定し、達成/進捗状況を記載。	目標	21.0%	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%
観覧者数(室)	後年度効果発現の場合は、昨年度設定した成果目標の達成/進捗状況について記載。(H30年度以降の事業は成果目標設定時に設定済み)	実績	35,000人	35,000人	50,000人		
		目標					
		実績	35,000人	40,000人	50,000人		

状況説明	説明
[H30年度] ・施設の稼働率は21%となり目標を下回っている ・室の観覧者数は40,000人	設定した成果目標(指標)の達成/進捗状況の説明を記載する。 目標年度、効果発現年度まで毎年度追記していく。
[R1年度] ・施設の稼働率は20% ・室の観覧者数は50,000人	
[年度] ・	

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	視点	備考
[H30年度] ・施設の稼働率が下回っていることについて、施設の認知度が低いことや交通アクセスに課題があると思われる。 ・イベントの開催により、の注目度が高まっていることから、当該施設の更なる活用促進が期待できる。	<ul style="list-style-type: none"> 想定した事業の効果が適切に発揮されているか(想定と実績を踏まえてその原因も検討) 事業の実施により周辺環境に影響を及ぼしたのか。 事業効果に関連する社会情勢の変化 	紹介に努める必要がある。
[R1年度] ・イベントの開催等で観覧者数は伸びているが、平日の稼働率に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標の「達成/進捗状況」で記載した内容に着目し、モニタリング等の必要性やその内容等 「事業効果の確認」を踏まえ、当該事業の効果をより高めるために必要な改善措置 	
[年度] ・		

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

[H30年度] ・施設の運営を行う×××事業等と連携し、当施設のパンフレットや	視点 ・「改善措置等の検討」であげた改善点を踏まえ、どのように具体的な取り組みに繋げていくか	図る。また、
[R1年度] ・指定管理を請け負っている業者等		
[年度] ・		